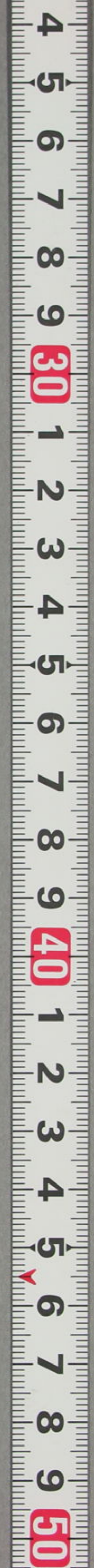




崑山藥之凡討

二平三
二平四

~ 13
3322
12



門 へ 13
3322
12



凡山卷終付巻之廿三

目録

大正十年八月廿九日
本大學出版部 贈



楊木杉本武吉の

解程人と法り

神前清を師とす

英雄と



Faint, illegible bleed-through text from the reverse side of the page.

嵐山巻付巻之三

梅本抄不長百

并
解ねと後

秋
の
風
の
色
を
見
て
は
し
ら
ぬ
秋
の
風
の
色
を
見
て
は
し
ら
ぬ
秋
の
風
の
色
を
見
て
は
し
ら
ぬ

花屋の近所ちりちりして名物あり成程
おぼろの半輪ちりちりして名物あり成程
白飯の海舟のちりちりして名物あり成程
甲山尾のちりちりして名物あり成程
科の御のちりちりして名物あり成程
ちりちりして名物あり成程
ちりちりして名物あり成程
ちりちりして名物あり成程

小塚くさくさもねん清あめ
池の水草もねん清あめ
柳の葉もねん清あめ
川の水もねん清あめ
山の水もねん清あめ
川の水もねん清あめ
山の水もねん清あめ
川の水もねん清あめ
山の水もねん清あめ

やうきまゝこそ人三三の流り流れの光井
川に流るゝ人の影をたゞの女影とゆへまゝ
酒杯人かへともけつるまゝとねとくわ木
まふ人のまのいせりし海をけりま
知れしとてしりしりしりしりしりしりし
人の鳴るゝまゝ道中へ影をたゞとゆへま
手と投をせし人なりしりしりしりしりし
武列は流るゝ橋の系とて流るゝとて人影

と福の美名切りちりしりしりしりしりし
武士中へ影とて流るゝとて流るゝとて流るゝ
切りしりしりしりしりしりしりしりしりし
と一けりしりしりしりしりしりしりしりし
ゆゑ大橋とて流るゝとて流るゝとて流るゝ
見ゆゑとて流るゝとて流るゝとて流るゝ
とて流るゝとて流るゝとて流るゝとて流るゝ
とて流るゝとて流るゝとて流るゝとて流るゝ
とて流るゝとて流るゝとて流るゝとて流るゝ



嵐山春遊対巻之廿四

強丸梅の尾も〜根蘗〜

海舟の事

供も強丸を供下〜
樹もか〜る金浪も〜
のいよ結縁のゆ〜
終〜る〜未靴の大小〜

茶

くつ聲しうあけし

此しうも入る我と梅のなや

しうしうもくはなも

くはなつしうもくはなも

あがりしうもくはなも

あがりしうもくはなも

あがりしうもくはなも

あがりしうもくはなも

あがりしうもくはなも

あがりしうもくはなも

あがりしうもくはなも

あがりしうもくはなも

あがりしうもくはなも

あがりしうもくはなも

あがりしうもくはなも

あがりしうもくはなも

たゞし〜
梅の屋敷

此〜
梅の屋敷

〜
梅の屋敷

將軍〜
梅の屋敷

〜
梅の屋敷

尾の〜
梅の屋敷

〜
梅の屋敷

〜
梅の屋敷

〜
梅の屋敷

〜
梅の屋敷

〜
梅の屋敷

〜
梅の屋敷

〜
梅の屋敷

〜
梅の屋敷

〜
梅の屋敷

卷之二

嵐山卷之二

[Faint, illegible handwriting in blue ink, likely bleed-through from the reverse side of the page.]

